

コミュニケーション能力

- ジェスチャーで伝えても、なかなか伝わらない、そんなことがたくさんあり、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。初めは、恥ずかしかったりして、なかなか行動できませんでしたが友達と協力していくうちに楽しく活動できました。
- コミュニケーションの面白さを知りました。感情は、ダイナミックに表現する方がいいということを学びました。一人一人が楽しく自分を表現できる良い機会になったと感じます。
- コミュニケーション活動によって、自分を表現する楽しさを感じました。徐々に打ち解けて“楽しい”“もっとやりたい”と思うようになりました。新しい関係を築くことで、今までになかった見方や考え方を発見できました。この活動を終えたとき、今よりもっと何かに「挑戦できそう！」という自信がつかしました。
- いろんな人とコミュニケーションをとると、その人がどんな人なのか知ることができて、より深く関わり合えるのだなと思いました。

これは、昨年度、演劇ワークショップに参加して、コミュニケーション能力をアップさせた制作部の現在の3年生が書いてくれたものです。制作部では、今年度も、1・2年生が、演劇活動を通して、コミュニケーション能力向上に取り組んでいます。

12月1日（金）には1回目のワークショップがありました。昨年度と同じ講師の方々が来てくださいました。この日のワークショップのねらいは、普段、接点の少ない相手とも協力して何かを達成するという経験をすることです。

まずは、並べ替えゲームやみんなでジャンプ、フルーツバスケットなどを行いました。その後は、ジェスチャーゲームです。これは、体の動きだけでお題を表現するものであり、グループで取り組みました。グループはその場で機械的に決めたものです。

各グループごとに話し合いが始まりました。どのグループも熱心に取り組んでいます。練習が始まりました。練習をしながら、修正をしていきます。中には、むずかしそうなお題もありましたが、アイデアを出し合いながら、ジェスチャーをつくっていきました。

その後、1グループずつ発表していきました。短い時間で、よくここまで仕上げたなど感心させられました。上の3年生の文にもあるように、制作部の皆さんは、楽しんでいました。きっと、コミュニケーションの面白さを味わっていたのだと思います。

2回目は、12月25日（月）に、3回目は、1月12日（金）に行われます。制作部の皆さんが、これからますます変わっていくのを見るのが楽しみです。コミュニケーション能力をアップさせるとともに、自信をつけてくれることを願っています。